



CANOA だより

53

2014年1月発行

文・写真_鈴木真由美 編集_橋口博幸 発行_ブラジル事務局
Praia do Esteveao s/n, Canoa Quebrada, Aracati-CE-Brasil CEP: 62800-000

時が経つのは早いもので原稿を書いている現在、師走に入りました。ブラジルはカトリック教徒の多い国ということもあり、この時期はクリスマスの厳かな雰囲気や街中を包みます。といっても、最近では日本と変わらず、『サンタさん』『プレゼント』といった、商業的な趣がまじっている感じではありますが。

私たちの保育園・学童教室は十二月末をもって年度末となります。この時期になると、卒園・卒業生、それと同時に、来年度入園・入学予定の子とも達との面接などが行われます。昨今では、学童教室の入学希望者が増加傾向にあり、私達の定員を上回る希望者が訪れるようになりました。その一方保育園では、五歳児の子どもの退園が相次ぎ、地域における教育意識の変化をひしひしと感じています。『私たちが目指すもの』『地域の住民たちが必要としているもの』それらをきちんと見極め、今後の活動につなげていきたいと考えています。

昨年はクリスマス・正月を日本で過ごすこととなりましたが、今年は私が最も賛沢であると考えている『クリスマスをブラジル』『正月を日本』で過ごすこととなります。

日本の冬を体験するようになって、三年目となる今年。娘たちも既に、「雪降ってるかな?」「また雪だるま作れるかな?」と、日本の冬を体験するのを今か今かと待ちわびているようです。

今回もまた、四月まで日本に滞在する予定です。報告会など、また皆さんとお会いできる機会がたくさんあることを願っています。『報告会を主催したい』『授業をお願いしたい』などご希望の方は直接私(鈴木)もしくは、「光の子どもの会」日本事務局までご連絡頂けますよう、お願い申し上げます。皆様とお会いできますことを楽しみにしております。

課外授業



聖ミカエル祭



よこはま国際フェスタ 真野由紀

十月十九日(土)、象の鼻パークで行われた国際フェスタに「光の子どもたちの会」としてブースを出し、初参加しました。残念ながら、二日目の日曜日は悪天候のため中止となってしまいました。しかし、初日の土曜日は世界各国で活動するNGO団体が多数出店する中、カノアの美しい写真パネルと女性スタッフ7人で客目を引き、子どもから大人まで多くの方にカノアケブラーダに関する商品を販売することができました。中でも、魚のウロコで作ったピアスや、貝殻マグネット、色鮮やかな手作り写真立ては、目玉商品となりました。みんなでアクセサリー製作イベントを重ね、たくさんの方に製作をお手伝いして頂いた結果です。来年のフェスタも、私たちの活動をより多くの方々に知っていただくため、スタッフ一丸となってまたイベントを盛り上げていきたいと思しますので、宜しくお願い致します。



イベントの開催

「よこはま国際フォーラム」にて講演会

日時 二〇一四年二月九日(日) 十五時～
場所 JICA 横浜 第一会議室(変更あり)
定員 四〇名
*詳細別途お知らせいたします。

「貝殻アクセ作りイベント」

日時 毎月第一日曜日 十～十二時
場所 神奈川県民センター九階フリースペース
内容 貝殻アクセ&グッズ作り
*開催詳細に関しては決定次第告知いたします。

第八回「光の子どもたちの会」総会

日時 二〇一四年三月八日(土) 十三時～
場所 横浜市立栗田谷中学校 地域交流室
内容 代表による現地事業報告
日本国内イベント報告

二〇一三年度卒業児童

今年度を持って、三名の子ども達が私たちの下から旅立つこととなりました。この三名はいずれも、三歳になったばかりの頃から受け入れ、十三歳となる今年まで、約十年間を共に過ごしてきました。日本でいう、「中学生」となった彼らが、これからどのような人生を歩んでいくのか。そばで一緒にいることはなくとも、陰から見守り、応援し続けていきたいと思っています。

アチーソン・ダ・シウバ



僕は三歳の頃から通っていて、そこで、イサベルやパウロと出会いました。保育園を卒業し、その後、プレ・

エスコラに行き、その後、学童教室に通い始めました。この頃、たくさんの友達と出会いました。またこの学童教室で、「よさこいソーラン」を覚えました。この踊りはとても印象に残っていて、いつまでも忘れることはないと思います。遠足や校外学習にもたくさん行きました。砂丘に登り、海岸まで歩く。この道のりはいつも通っているにもかかわらず、毎回とても楽しいから不思議です。うまくできないこともたくさんあったけど、どれも面白かったです。僕は将来、生物学者になりたいと思っています。今まで出会った人みんな、本当にありがとうございます。みんなのことは僕の心の中にいつでも残っています。

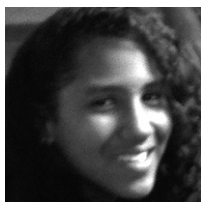
パウロ・ガブリエル



僕は保育園に通い始め、そこで、歌い・リコーダーを吹き・踊り・絵を描き……。本当に色々なことをしました。

その後学童教室に入り、そこでたくさんの友達ができました。一番思い出に残っていることは遠足に行ったことです。遠足や校外学習は、どこに行っても珍しいものがたくさんあり、学ぶことがたくさんありました。学童教室では地域の伝統について勉強したり、話を聞きに行ったり、作ったりしました。また、外国語を学ぶ機会もありました。日本語もその一つです。いろいろ習ったけど僕は日本語が一番好きです。忘れられないことといえば、やっぱり、ボランティアの人たちのことです!!一緒にたくさんのお話をしました。僕は将来、最新技術を学べる工場で働きたいと思っています。学童教室は、僕の人生を大きく変えてくれました。皆さん、本当にありがとうございます。そしていつかまた出会える日まで……。

イザベル・ホーシヤ・サントス



保育園に入った時、最初の先生はエヴァ先生とエリアーナ先生でした。一番の思い出は、カーニバルに参加し

たときのことです。子ども達はみんな魚になって、海に見せかけた大きな布の下にみんなが入ったり出たりしていました。私はリコーダーを吹く時間が一番好きでした。今でも忘れられない曲があります。“A barquinha boninha, voga, voga, sem parar”。そのあとマルシアノ先生の学童教室に通い始めました。劇をしたり、聖ニコラウなどの季節があったり……。一番好きなのは聖ミカエルの季節です。この時には部屋中にロウソクが灯され、周囲には甘いりんごの香りが漂い、私たちは一人ずつ落ち葉の輪の中を歩いています。この瞬間が私はとても好きで、一生忘れることはないでしょう。将来のことを考えると、頭の中にいろいろな職業が浮かびます。その中のひとつは私の母と同じ教師です。こうした体験をした

ことのない子ども達にぜひ伝えたいことがあります。新しいことを体験すること。多くの人と交わり学び合うこと。それはどんなものにも代え難い貴重なものだと思います。例えば他の国の文化を学ぶということ。日本から来たボランティアは「よさこいソーラン」を私たちに教えてくれました。たくさんのお話を聞かせてくれました。一人だけ、二年間いたボランティアがいます。彼女は日本人で、私たちに日本語を覚えてくれました。彼女のことは絶対に忘れません。たくさんの良い思い出を残してくれた彼女に心から感謝します。ここでの思い出も忘れないうでほしいです。保育園の時にリコーダーを習ったことで、今では楽団でテノールサクスを吹いています。こうした機会を設けてくれたたくさんの方に、ありがとうございました!!

来年に向けての抱負

パトリツシア・マルケス・ダ・シウバ



二〇一四年一月より一年間、サンパウロのモンチ・アズールにて研修することになりました。この研修期間に

実習生から助手へ。そして大学生になりました!!

マリエッタ・バチスタ・ダ・シウバ



初めて保育園で実習をさせてもらった時、今まで私が知っていた幼児教育と活動内容や子ども達との接し方が

は、新たな知識や学び、今まで培ってきたものを生かした活動を実践していきたいと思っています。どんなことが待ち受けているのか、私には分かりません。でも、どんなことが起ころうとも、自分の持っている力をすべて用いて、前進あるのみだと思っています。今回のこの研修は、私の専門性を磨くだけでなく、自分自身の人生、私自身を見つめるよい機会になると考えています。一年后、私がカナアに戻ってきた時、難しい問題や課題を乗り越え、私たちの活動に活かせる新たな知識や技術だけではなく、自分自身が一回り大きくなり、今以上に「大人」になっていることを望みます。そして、「光の子どもたちの会」に今まで以上に貢献できるように努めたいと思っています。このような機会を得られたことを感謝するとともに、私を信じ、今回の研修の実現のために力を貸してください皆様へ御礼申し上げます。どうもありがとうございます!!

異なることに気づきました。『絵や歌、読み聞かせ』など遊びの中から子ども達が多くなることを学んでいることに驚きました。私は幼児教育といっても、小学校入学前の一年間を学んだだけですが、その時は、机に座り、ノートと鉛筆を持たされて、とにかく座っていたことしか覚えていません。驚きの連続の中で、三ヶ月の実習が終了しました。そして、全ての教職員からの評価(私の態度、子どもとの接し方、学びの姿勢)を受け、めでたく、助手として保育園で働くことになりました。助手として働くようになり、実習生の時以上に活動内容や子ども達の様子を深く見ることで、保育園での日々がとても興味深いものとなりました。その中で感じた一番のことは、子どもにとっで遊びは重要であり、それは私たちにとっての仕事や勉強と同じものであるということでした。



私は高校を卒業した時、いつか必ず大学に行きたいと思っていました。でも、経済的にも厳しく、それを叶えることはとても困難でした。それでも、その夢を諦めたことは一度もありませんでした。保育園で実習させてもらうことができ、その後、助手として働き始めることができました。一緒に遊んでいました。私は高校を卒業した時、いつか必ず大学に行きたいと思っていました。でも、経済的にも厳しく、それを叶えることはとても困難でした。それでも、その夢を諦めたことは一度もありませんでした。保育園で実習させてもらうことができ、その後、助手として働き始めることができました。一緒に遊んでいました。皆さんどうか、私が無事卒業できるようお願いしててください。よろしくお願ひします。

「学資支援」のお願い

私立のため一人当たり：

授業料（月謝）+ 交通費 + 教材費 = 約 15000 円（R\$300.00）

が掛かることとなり、その半分を支援していこうというプロジェクトです。

現在、毎月約 7500 円を学資支援しています。

支援方法は、会員の支払い方法と同じです。但し、コメント欄に

『学資支援』と書いていただけますよう、お願いいたします。

現在実施中のプロジェクト

味の素支援によるプロジェクト

味の素「食と健康」国際協力支援プログラムより、『地域特有の食材及び料理の再評価による、地域住民の栄養改善プログラム』として、二〇一二年四月一日より実施している事業は、終盤を迎えています。地域特有の食材に関するカタログ作りも着々と進んでおり、収穫に協力してくれた地域住民たちは、その結果を、首を長くして待っているところです。また、地域住民と共にフォルタレーザ大学を訪問し、ラボと栄養素及び栄養価の特定の見学を行い、バランスのとれた食事となるよう、これら食材を活かしたメニュー作りも少しずつですが作成されています。

予定通りに進まないことが多々あり、今までにないほど落ち着かない気持ちでいるのですが、最後には必ずうまくいくというブラジル流を信じ、残りの期間、努めていきたいと思えます。

JICA草の根技術協力事業プロジェクト

JICA草の根技術協力事業より、『ブラジル東北部子育て支援体制強化による地域力向上プロジェクト』として二〇一三年三月一日より実施しています。

二つのキャンペーンを実施し、事業実施の手応えを感じている今日。予定通り進まないこともあります。『子育て支援』への関心は高く、特に、六歳以下の子ども達に対する支援協力は強固なものとなっています。今後、具体的な活動が実施されていく中、積極的に関わってくれている専門家や住民を中心とし、活動に取り組んでいきたいと考えています。

これからも皆様の応援・ご協力の程、よろしくお願い致します。

子育て日記より

次女は現在五歳。早生れですが、クラスで一番背が大きく、他の子ども達のお姉さんの存在です。家ではいつもお姉ちゃんに命令されてばかり…甘えん坊…なので、保育園では全くその逆の存在感を發揮しているようです。とにかく面倒見がいい。そして、先生のお手伝いが大好き。大好きな先生だけに、もうすぐ卒園ということが分かってきたのか、お迎えに行くとたびに、「先生と離れたくないなあ」と言います。私自身保育士をしているので、子どものこんな言葉を聞いたら嬉しくなってしまうのですが、子どもにとってはもう真剣。お姉ちゃんが通っているとはいえ、学校は未知の世界。一体どんなところなのだろうか？と、想像をふくらませているのかもしれない。

ありがとうございます!!!

平成 24 年 6 月 15 日～平成 25 年 11 月 8 日現在までに会費及び寄付を頂きました皆さま及び物資支援を頂きました皆さまのお名前を下記に記載いたしました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。これからも一人でも多くの方に会員になって頂き、カノアの活動を共に支えていっていただけると嬉しいです。目標会員 100 名!!!

*会費及び寄付を頂きました皆様 (以下順不同)

小川 千鶴子 さま / 神田 昌実 さま / 浜田 順子 さま / 馬上 隆一 さま / 真野 由紀 さま / 村上 誠 さま

「学資支援」のお願い

ブラジルでは「子どもと直接かかわる職業の人はすべて、大学の教育学部に通学もしくは卒業していること」ということで、私たちの現地スタッフの内 2 名 (フラビアーニとパトリシア) は現在大学に通学しています。私立のため一人当たり: 授業料 (月謝) + 交通費 + 教材費 = 約 18,000 円 (R\$300.00) が掛かることとなり、その半分を支援していこうというプロジェクトです。

現在、毎月約 18000 円 (二人分) を学資支援しています。支援方法は、会員の支払い方法と同じです。但し、コメント欄に『学資支援』と書いていただけますよう、お願いいたします。

「共育ち・ひなた」にて、カノアの物品を販売

「共育ち・ひなた」は“子どもの育ちに寄り添うことを通して、私たち一親・支援者・私個人一として、もう一つの人生を味わうことができます。ここに集う人がつながり、共に育ち合う場をご一緒に創りたいと願っています。”というミッションを掲げ、横浜市内で活動しています。その活動に共感し交流を続けているのですが、今後とも共に学び合っていけたらと思っています。

「共育ち・ひなた」

連絡先・お問合せ 宮地 陽子

横浜市神奈川区鳥越 11-17

Tel/Fax: 045-423-6898 (19 時以降)

e-mail: tomosodachi.hinata@gmail.com

会費及び寄付の振り込み方法の改善について

現在、インターネットによる会費及び寄付の振込の可能性を検討しているところですが、今のところ、①郵便振替、②銀行振込、そして新たに③自動引落による振込の 3 つの方法によって、会費及び寄付を受け付けています。まだまだ至らない点もあるとは思いますが、今後とも皆様からのご意見を生かしながら運営していきたいと考えておりますので、ご支援ご協力のほど、よろしく願いいたします。

■ 自動引き落としによる振り込み方法

1. 自動引き落とし希望の口座のある金融機関に行き、自動引き落としの手続きをする。(この際、ご希望の引き落とし日、金額を指定していただけます)
2. ご希望の引き落とし日よりご指定の金額が『光の子どもたちの会』に振り込まれます。

*尚、ゆうちょ銀行の場合は下記の<郵便振替>と同じ口座番号ですが、他金融機関からの振り込みの場合には、<ゆうちょ銀行振込>と同じ口座番号となりますので、ご確認ください。

■ 郵便振替

口座番号: 00280-1-41787

加入者名: 光の子どもたち-カノアの活動を支える会

■ ゆうちょ銀行振込

名義: 光の子どもたちの会

店名: O二八 (読みゼロ二八千)

店番: 928

普通預金

口座番号: 5552594

ボランティアの皆さん、どうもありがとうございました!! (以下 2013 年 7 月より現在まで)

2013/8/1 ~ 8/14

平田 静季

日本語の授業、教師に対してのワークショップ